

学校番号	学校	学科(学系)	課程
47	山田高等学校	普通科	全日制

URL (note) <https://ymd-hs.note.jp/>

入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー) 「このような生徒を待っています」	
<ul style="list-style-type: none"> ・本校が第一志望、スクールポリシーに共感できる生徒。 ・挨拶ができ思いやりの心を持って行動できる生徒。 ・中学校での学習活動や特別活動等によりしっかり取り組んでいる生徒。 ・入学後、自分の進路や目標に向けて、日々努力できる生徒。 ・故郷や社会に貢献しようとする意欲を持った生徒。 	
特色入学者選抜において求める生徒像	
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習や特別活動に前向きに取り組む、その活動の中心となる生徒。 ・知的好奇心や学ぶ意欲を持ち、自ら成長しようと努力を継続できる生徒。 ・故郷や社会に貢献するための基本能力である、情報を収集・整理する力、自らの言葉で相手に伝える力を持っている生徒。 	
各選抜の内容	
一般入学者選抜	<p>【募集定員】定員(40名)から特色入学者選抜合格者数を減じた数</p> <p>【選抜方法】</p> <p>学力検査：調査書の比率 … 5 : 5</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力検査 (500点) 2 調査書 (500点) 3 学校独自検査 なし <p style="text-align: right;">《合計 1000点》</p>
	<p>【募集定員】2名(定員の5%)</p> <p>【選抜方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(学習の記録)(100点) <ol style="list-style-type: none"> (1) 1年生 110点満点(国語、社会、数学、理科、英語の評定は2倍。音楽、美術、保健、技術・家庭は3倍) (2) 2年生 220点満点(国語、社会、数学、理科、英語の評定は4倍。音楽、美術、保健、技術・家庭は6倍) (3) 3年生 330点満点(国語、社会、数学、理科、英語の評定は6倍。音楽、美術、保健、技術・家庭は9倍) (4) (1)～(3)の合計660点を圧縮 2 志願理由書(30点) <p>評価の観点(配点)：これまでの取組への主体性、積極性(15点) 入学後の取組に関する具体性、意欲(15点)</p> 3 プレゼンテーション(120点) <ul style="list-style-type: none"> ・次の手順で行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①当日提示する資料(新聞)から、興味・関心の高い記事の一つを選び、内容の要約と自分の考えをまとめたA4縦判の構想メモを作成する。(50分) ※選ぶ記事の分野は自由(社会・生活・スポーツ等)とし、同等に評価する。 ②作成した構想メモを元に、スピーチを行う。(3分) ③スピーチの内容に関する質疑に答える。(5分) ・評価の観点(配点)：内容を整理して発表する力(60点) 自分の考えを表現する力(60点) ・提示する資料(新聞)について <ol style="list-style-type: none"> ①県内で広く知られている地方紙とする。 ②令和6年12月から令和7年2月まで発刊されたものとする。 ③受検者毎に発刊日の異なるものとする。 <p style="text-align: right;">《合計 250点》</p>
一次募集	特色入学者選抜

日程	一次選考の有無	志願者が2倍を超える場合には、提出書類により一次選考を行うことがある。
	日程	<ol style="list-style-type: none"> 1日目：一般入学者選抜の学力検査 (8:30集合、14:55終了) 2日目：特色入学者選抜のプレゼンテーション (8:30集合、プレゼンテーションが終了した者から順次終了(概ね11:00までに完了予定))
二次募集	【選抜方法】	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(学習の記録)(50点) 「中学1年の9教科の評定×1+中学2年の9教科の評定×2+中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 面接(50点) <ul style="list-style-type: none"> ・個人面接(10分) ・志願理由、入学後に取り組みたいこと、将来の進路意識などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点(配点)：志願意思等(20点) 進路に関する意欲(20点) 表現力(10点) 3 作文(50点) <ul style="list-style-type: none"> ・検査時間50分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。(600字程度) ・評価の観点(配点)：内容の具体性(40点) 表現力(10点) <p style="text-align: right;">《合計 150点》</p> 	
その他(学校・学科の魅力・特色)		<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間では地域を題材に、地域と連携した取組を行う。 ・基礎・基本を大切に、個の学びに応じた丁寧な学習指導。 ・ポータ部が県スポーツ強化指定を受けている。

学校番号	学校	学科(学系)	課程
49	宮古北高等学校	普通科	全日制

URL (note) <https://myn-hs.note.jp/>

入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー) 「このような生徒を待っています」	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味・関心や適性について理解を深め、可能性を広げたいと考えている生徒 ・自らの成長や夢の実現をとおして、社会への貢献を考えている生徒 ・自他の個性を大切に、違いを認めることができる生徒 	
特色入学者選抜において求める生徒像	
各選抜の内容	
一 次 募 集	一般入学者選抜 【募集定員】 定員 (40名) 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5 : 5 1 学力検査 (500点) 2 調査書 (500点) 3 学校独自検査 なし 《合計 1000点》
	特色入学者選抜 実施しない。
	一次選考の有無
日程 1日目：一般入学者選抜の学力検査 (8:30集合、14:55終了) 2日目：なし	

二 次 募 集	【選抜方法】 1 調査書(学習の記録) (100点) 「中学1年の9教科の評定×1+中学2年の9教科の評定×2+中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 面接 (200点) ・第一面接、第二面接を実施(各100点)。 ・受検者1人あたりの合計所要時間は20分程度。 ・各面接における評価の観点(配点)：応答の内容 (80点) 面接に臨む態度 (20点) 3 作文 (100点) ・検査時間は50分。 ・与えられた条件に従って記入すること。 ・評価の観点(配点)：文章表現 (30点) 文章構成 (10点) 内容・意欲 (60点) 《合計 400点》
	その他 (学校・学科の 魅力・特色)
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりを尊重する教育 ― 個に応じたきめ細やかな指導を行います。 ・2年次よりコース制を採用 ― 進路希望に応じてコースを選べます。 ・地元田老地区について学ぶさまざまな取り組みを実践しています。

学校番号	学校	学科(学系)	課程
51	宮古水産高等学校	全学科(海洋生産科、食物科)	全日制

URL (note) <https://myf-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー) 「このような生徒を待っています」	
<ul style="list-style-type: none"> 目的意識があり、自らを鍛えて成長したいという気持ちを持っている生徒 「海」「船」「魚」が好きであること(海洋生産科) 「食べる」「つくる」「もてなす」ことが好きであること(食物科) 	
特色入学者選抜において求める生徒像	
各選抜の内容	
一 次 募 集	一般入学者選抜 【募集定員】 各科定員(40名) 【選抜方法】 学力検査:調査書の比率 … 5:5 1 学力検査(500点) 2 調査書(500点) 3 学校独自検査 なし 《合計1000点》
	特色入学者選抜 実施しない。
	一次選考の有無
日程 1日目:一般入学者選抜の学力検査 (8:30集合、14:55終了) 2日目:なし	

二 次 募 集	【選抜方法】 1 調査書(学習の記録)(100点) 「中学1年の9教科の評定×1+中学2年の9教科の評定×2+中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 面接(100点) ・個人面接(1人約10分) ・評価の観点(配点):志願意志等 (40点) 進路実現への意欲 (40点) 表現力 (20点) 3 作文(100点) ・検査時間50分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。 ・評価の観点(配点):内容の具体性(60点) 表現力 (40点)
	《合計300点》

その他 (学校・学科の 魅力・特色)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町村だけでなく、他県や岩手県内陸からの入学者が在籍している。 海洋生産科船舶運航コースでは、漁業実習や長期乗船実習も含めた内容で、大型船舶の船長や航海士になるための基礎を学ぶ。 海洋生産科食品資源コースでは、水産業の6次産業化を総合的に学ぶ。 食物科では、調理実習(日本料理・西洋料理・中国料理)・栄養・食品衛生等、調理師として必要な知識と技術を学ぶ。 山田実習場では、マガキ・ホタテガイ等の養殖実習のほか、ダイビングのトレーニングも実施できる。 共同実習船「りあす丸」(499t)、「海翔」(171t)における乗船実習が充実している。 海洋生産科の生徒は専攻科で学ぶ先輩の姿を間近に見ながら、専攻科を志望する際の参考にすることができる。 食物科の生徒は、希望により「船舶調理実習」で実習船における調理も学ぶことができる。 課題研究では、年間を通して水産・家庭に関する探究活動に取り組んでいる。 保育所における「こどもおさかな教室」(海洋生産科)・「こどもクッキング教室」(食物科)を通して、学んだことを地域の子どもたちの健全な育成に役立てる活動を行っている。 部活動への加入は任意であり、生徒それぞれの高校生活の充実を目指している。 部活動としてダイビング等に取り組めるマリンスポーツ部を設置している。 太鼓部は高文連の大会等で多くの入賞歴を誇り、さまざまなイベントに参加し、地域を盛り上げている。 卒業後の進路として管内・県内・全国から就職の求人非常に多くいただいている。就職、進学ともに実績をあげており、卒業生が各方面で活躍している。 高校卒業後の2年課程として専攻科漁業科を設けており、大型船舶の航海士を目指して本校だけでなく県外からも進学実績がある。
-----------------------------------	---

学校番号	学校	学科(学系)	課程
52	岩泉高等学校	普通科	全日制

URL (note) <https://iwi-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

「このような生徒を待っています」

- ・「地域に支えられ、地域を支える」学校という方針のもと、意欲的に学ぶ意志のある生徒。
- ・規律や礼節を尊重して安心安全な学校づくりに協力し、他者とコミュニケーションを大切にしながら自己の成長を望む生徒。
- ・高校での学びを活かして、社会に貢献できる人物になりたいと希望する生徒。
- ・中学までの学びを意欲的に取り組み、今後も新たな知識や技能の習得に挑戦できる生徒。
- ・探究的な学びを通して、自己の目標を実現するために、磨いた力を活かして粘り強く取り組もうとする生徒。

特色入学者選抜において求める生徒像

各選抜の内容

一 次 募 集	一般入学者選抜	<p>【募集定員】定員（80名）</p> <p>【選抜方法】</p> <p>学力検査：調査書の比率 … 5：5</p> <p>1 学力検査（500点）</p> <p>2 調査書（500点）</p> <p>3 学校独自検査（100点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団面接（1グループ（約5名）20分程度） ・入学後に取り組みたいこと、将来の進路意識などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（40点） 進路に関する意欲（40点） 表現力（20点） <p style="text-align: right;">《合計 1100点》</p>
	特色入学者選抜	実施しない。
	一次選考の有無	
日程		<p>1日目：一般入学者選抜の学力検査、面接 （8：30集合、面接が終了した者から順次終了（16：40完了予定））</p> <p>2日目：なし</p>

二 次 募 集	【選抜方法】
	<p>1 調査書（学習の記録）（90点） 「中学1年の9教科の評定×1＋中学2年の9教科の評定×2＋中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮</p> <p>2 面接（160点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面接（10分） ・入学後に取り組みたいこと、将来の進路意識などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（70点） 進路に関する意欲（70点） 表現力（20点） <p>3 作文（50点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査時間 60分 ・当日示されたテーマについて、自分の考えや感じたことなどを記述する。（800字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（20点） 表現力（30点） <p style="text-align: right;">《合計 300点》</p>
	<p>【その他】</p> <p>（学校・学科の魅力・特色）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の総合的な探究の時間にあたる「KIZUKIプロジェクト」を軸に、探究的な学びを推進。「地域に支えられ、地域を支える学校」として、地域と協働的な取り組みを行う。 ・地域の伝統芸能である「中野七頭舞」を継承し、地域の特色を武器に、地域連携や高校魅力化を推進。 ・地域の子どものための「まなびの砦」として、基礎学力の向上や多様な進路志望の実現を推進。